

本院で脊髄硬膜外動静脈瘻（せきずいこうまくがいどうじょうみゃくろう）の
治療を受けられた患者さん・ご家族の皆様へ

～平成 23 年 1 月から令和 2 年 12 月までに治療を受けられた方の治療前後・治療時
の画像および診療情報についての医学研究への使用許可のお願い～

【研究課題名】

Spinal extradural arteriovenous fistula（脊髄硬膜外動静脈瘻）の分類と各疾患群における臨床症状、血管構築、治療成績の検討：全国調査

【研究の対象】

この研究は以下の方を研究対象としています。

平成 23 年（2011 年）1 月 1 日～令和 2 年（2020 年）12 月 31 日までに本院で脊髄硬膜外動静脈瘻に対してカテーテル治療を受けられた方

【研究の目的・方法について】

脊髄硬膜外動静脈瘻は、硬膜（こうまく）という脊髄を覆う膜の外側の部分で動脈と静脈が直接交通し、圧の高い動脈の血液が静脈に流れ込む病態です。このため様々な症状を起こし、脊髄の静脈に逆流した場合には麻痺や排尿、排便障害や感覚障害など重篤な症状をきたすことや、神経を圧迫した場合にはその神経の障害を起こすことがあります。診断と治療が重要な疾患です。治療法としては血管内治療（塞栓術（そくせんじゅつ））、外科手術があり、最近では体への負担が少ない治療であることから血管内治療が選択される機会が増えています。しかし、脊髄硬膜外動静脈瘻は複数の異なる疾患の総称であり、その詳細な分類や各疾患群の特徴には、いまだに不明な点も多くみられます。本研究の目的は、脊髄硬膜外動静脈瘻の血管構築や疾患分類と各疾患群の治療成績を明らかにすることです。

研究期間：（研究実施許可日）～2024 年 4 月 30 日

【使用させていただく情報について】

本院におきまして、治療前後、治療時に撮像された MRI や CT、血管造影検査の画像データを解析させていただきます。また、治療前後の経過を把握するために、患者さんの電子カルテの診療記録（症状、年齢、性別、治療記録など）を調べさせていただきます。なお本研究は兵庫医科大学倫理審査委員会において外部委員も交えて厳正に審査・承認され、兵庫医科大学学長の許可を得た上で実施しています。また、患者さんの診療情報は、国の定めた「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」に従い、匿名化したうえで管理しま

すので、患者さんのプライバシーは厳密に守られます。当然のことながら、個人情報保護法などの法律を遵守いたします。

【使用させていただく情報の保存等について】

本研究に用いた画像データおよび診療記録については論文発表後10年間の保存を基本としており、保存期間終了後は、パソコンなどに保存している電子データは復元できないように完全に削除します。

【外部への情報の提供】

本研究で収集した患者さんの情報は、本研究の研究事務局である福岡大学筑紫病院へ提供し、同院にて特定の関係者以外がアクセスできない状態で管理されます。なお、福岡大学筑紫病院へ提供する際は、研究対象者である患者さん個人が特定できないよう、氏名の代わりに記号などへ置き換えますが、この記号から患者さんの氏名が分かる対応表は、兵庫医科大学脳神経外科学の研究者が保管・管理します。なお、取得した情報を提供する際は、記録を作成し兵庫医科大学脳神経外科学で保管します。

情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称

研究責任者：脳神経外科学 教授 吉村 紳一/

実務責任者：脳神経外科学 助教 立林 洸太郎

【研究組織】

【本学（若しくは本院）における研究組織】

	所属・職名	氏名
研究責任者：	脳神経外科学 教授 吉村 紳一	
実務責任者：	脳神経外科学 助教 立林 洸太郎	

【研究全体の実施体制】

研究代表者

大分大学放射線部准教授 清末 一路

共同研究施設

聖路加国際病院神経血管内治療科部長 新見 康成

筑波大学脳神経外科脳卒中予防・治療学講座教授 松丸 祐司

岡山大学脳神経外科助教 平松 匡文

東海大学脳神経外科講師 Kittipong Srivatanakul

藤田保健衛生大学脳卒中センター教授 中原 一郎

久留米大学放射線医学講座講師 田上 秀一

虎の門病院脳神経血管内治療科部長 鶴田 和太郎

福岡大学筑紫病院脳神経外科講師	新居 浩平
福岡大学筑紫病院脳神経外科教授	東 登志夫
研究事務局	
福岡大学筑紫病院脳神経外科講師	新居 浩平
福岡大学筑紫病院脳神経外科教授	東 登志夫

既存情報の提供のみを行う機関
日本脳神経血管内治療学会専門医修練施設の内、既存情報提供の許可を得た施設

【患者さんの費用負担等について】

本研究を実施するに当たって、患者さんの費用負担はありません。また、本研究の成果が将来新たな治療法の開発につながり、利益が生まれる可能性があります。万一、利益が生まれた場合、患者さんにはそれを請求することはできません。

【研究資金】

本研究においては、日本脳血管内治療学会 2021 年学術総会の資金を用いて研究が行われます。本学においては研究資金は要しません。

【利益相反について】

この研究は、上記の資金を用いて行われ、特定の企業からの資金は用いません。「利益相反」とは、研究成果に影響するような利害関係を指し、金銭および個人の間を含みますが、本研究ではこの「利益相反（資金提供者の意向が研究に影響すること）」は発生しません。

【研究の参加等について】

本研究へ情報を提供するかしないかは患者さんご自身の自由です。従いまして、本研究に情報を使用してほしくない場合は、遠慮なくお知らせ下さい。その場合は、患者さんの情報は研究対象から除外いたします。また、ご協力いただけない場合でも、患者さんの不利益になることは一切ありません。なお、これらの研究成果は学術論文として発表することになりますが、発表後に参加拒否を表明された場合、すでに発表した論文を取り下げることはいたしません。

患者さんの情報を使用してほしくない場合、その他、本研究に関して質問などがありましたら、主治医または以下の照会先・連絡先までお申し出下さい。

【お問い合わせについて】

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障が

ない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申し出下さい。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

脳神経外科 担当者氏名：立林 洸太郎

[電話] (平日 9～17時) 0798 - 45 - 6458

(上記時間以外) 0798 - 45 - 6111